

庁議の概要

開催日 平成27年10月19日（月）

◎項目

1 各部署等の今週の動きについて【各部署等】

◎内容

1 各部署等の今週の動きについて【各部署等】

総務部が取りまとめた各部署等の今週の動きに関する資料を配付の上、各部署による概要説明及び協議が行われた。

<主な協議の概要>

○ 災害医療に関する研修について

（健康政策部）

南海トラフ地震対策で、災害医療に関する医師向け研修制度の創設についての第3回目の検討会を行う。3回目ということで個別の研修内容の議論になってきており、年内にあと2回開催し内容を固めたいと考えている。

（知事）

次期南海トラフ地震対策行動計画では、災害時の医療救護をいかに本当のものに仕上げていくかということが非常に大きな課題である。道路啓開計画とあわせて、この2つが非常に大きな課題になるので、実行ある形になっていくよう、よろしく願います。

○ 県産品データベースについて

（産業振興推進部）

今週、生産管理高度化支援策と併せ、県産品データベースについての説明会を開催する。これは、現在、各県内メーカーさんからいただいている商品情報について、県外のバイヤー約1,000社程にパスワードを付与して、紙媒体だったものが取引情報や細かな商品データに直接アクセスできるようになり、また生産者側も随時最新の情報を入力・更新ができるようになるものである。まだ完全な形ではないため順次機能強化していくが、これが出来上がったので説明会を行うこととしている。

（知事）

データベース化は6月補正だったか。

（産業振興推進部）

6月補正で対応し、ほぼ完成をしている。例えばバイヤー側でポップを作りたい時に商品写真が取り込める機能などを随時追加していくが、ベースのものは出来上がったので生産者向けに説明会を行う。

（知事）

強力なツールになりそうだ。

(産業振興推進部)

こういうインフラを他県は持っていないと思う。今まで外商でつながりができている1,000社超のバイヤーさんで希望されたところにパスワードを持ってもらい、データをウェブ上で共有できるので、今までは個別に問い合わせをしていたものが、そのまま取り出して使っていただけるようになる。外商のインフラとして使えると期待している。

○ J A 高知中央会との意見交換について

(農業振興部)

本日、J A 高知中央会の会長はじめ幹部の方々と意見交換をする。これまでは課題に対してじっくり意見交換をする場がなく、定期的な意見交換について話したところ快諾いただいたもの。

(知事)

良いことだ。

(農業振興部)

これから月1回程度のペースで、お互いに課題を持ち寄る形で話を進めている。個々具体的に詰めなければならない部分については、別にワーキングチームのような形で詰めて、それを本会議に反映させて意見交換していくという形で進めていきたいと思っている。テーマとしては、県内1J Aに向けた課題の具体化や来年度予算への反映、TPPの関係、産振計画、農業団地、農業クラスターの関係などといったものを議論していきたいと思っている。当然、課題によっては園芸連や全農などにも広げていく。

(知事)

拡大再生産が大きなテーマになっていくので、担い手がスムーズに就農できるようにするために我々がどういうベースを整えるべきかといったご意見や、さらにはクラスター化の話とか、よく話をしてもらいたい。